

2004年6月1日
株式会社ディーアンドエムホールディングス
代表執行役 CEO 株本辰夫
(コード番号 :6735 東証第2部)
(問合せ先) 執行役 CSO 本村直之
(TEL:042-748-7700)

株式会社ディーアンドエムホールディングス 組織変更および人事異動に関するお知らせ

株式会社ディーアンドエムホールディングス(東証 2 部:6735、本社:神奈川県相模原市、代表執行役 CEO: 株本 辰夫 以下、D&M)は、役員交代及び地域マネジメント制導入による組織変更と人事異動について発表いたします。

D&M では地域マネジメント制によって、よりタイムリーに市場の状況を把握、ニーズへの対応迅速化をはかるとともに、地域ベースのブランドポートフォリオ・マネジメントを推進し、グループとしての販売シナジー実現を目指します。D&M 各ブランドが培ってきたブランド価値及びビジネス・パートナーとの関係を今まで以上に尊重しつつ、事業拡大に取り組んでまいります。本制度の導入は、D&M が目指すプレミアム A/V エンターテインメント・ソリューションの市場におけるリーダーとなるための重要なステップと考えております。

地域マネジメント制導入により、組織の役割を(1) 各地域 営業・マーケティング組織、(2) 各ブランド組織、(3) グローバル・オペレーションおよびサプライ・チェーン組織の 3 つに再定義し、組織と人事を下記のようにいたしました。

役員人事(2004年6月24日予定)

2004年5月20日実施の取締役会において、取締役の変更を内定いたしました。6月24日実施予定の株主総会承認をもってティム・コリンズおよびマイケル・シードマンが退任、代表執行役社長 COO のヴィクター・ペイコーが新任の予定です。

各地域 営業・マーケティング組織・人事

- ▶ 2004年4月: 北米に社内カンパニーとして D&M sales and marketing, North America を設置。社長として、新たに D&M に入社したボブ・ワイスバーグが就任。北米のデノン、マランツ、マッキントッシュ、リオ、リプレイ TV、エシエント、D&M プロの営業・マーケティングを統括。
- ▶ 2004年6月1日: 日本に社内カンパニーD&M sales and marketing, Japan を設置。デノン社長の坂本光成が社長に就任。日本における D&M グループの全ブランドの営業・マーケティングを統括。
- ▶ 2004年6月1日: 同じくアジアを担当する社内カンパニーD&M sales and marketing, Asia を設置。マランツ社長の佐藤卓が社長に就任。アジアにおける D&M グループの全ブランドの営業・マーケティングを統括。
- ▶ 2004年上期中: ヨーロッパについても同様の組織を設置予定

ブランド組織・人事(2004年6月1日付)

- デノンとマランツをブランドカンパニーに位置付け変更。より魅力ある製品づくりに注力するため、商品企画、開発、ブランド・マネジメントに専念する組織といたします
- デノンブランドカンパニー社長に、デノン グローバル・マーケティング本部商品企画部長の市川博文(いちかわひろふみ/43歳)が就任。坂本はその会長に就任。
- マランツブランドカンパニーの社長にデノン技術企画本部長の後藤正男(ごとうまさお/56歳)が就任。佐藤はその会長に就任。

その他の人事異動(2004年6月1日付)

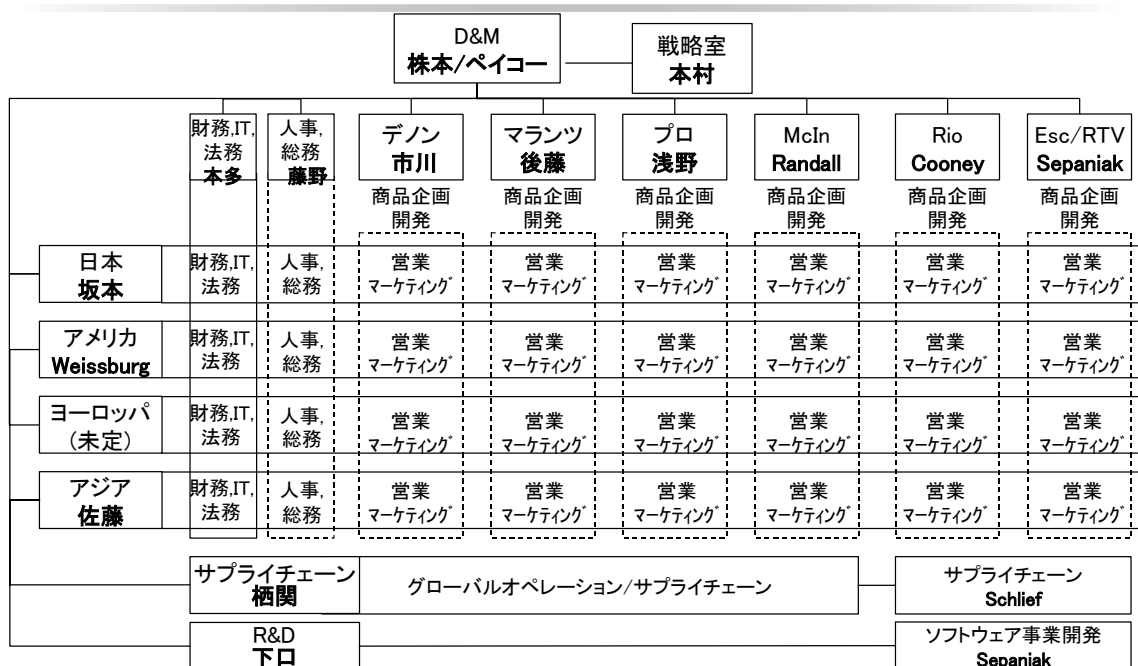
- D&M の CTO 山野隆示の退任に伴い、マランツ執行役員兼オーディオ企画開発グループ統括本部長の下口克己(しもぐちかつみ/53歳)が後任に就任。
- SCM ディレクターの栖関智晴は、今後ディーアンドエムマニュファクチュアリングの社長として、中国工場を含めグローバルに、オペレーション及びサプライ・チェーンの責任を担います。

上記新任者は全て社長のヴィクター・ペイコーに対して業務報告を行います。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ディーアンドエムホールディングス 執行役チーフストラテジーオフィサー 本村
TEL: 042-748-7700

新組織体制(04年6月以降): 地域マネジメント制



ディーアンドエムホールディングスとは

株式会社ディーアンドエムホールディングス(東証 2 部:6735) (D&M)は、リップルウッド支援の下、2002年5月に株式会社デノン、日本マランツ株式会社の統合により設立されました。高級 AV 製品の業界リーダーである株式会社デノン、日本マランツ株式会社、マッキントッシュ・ラボラトリー、およびリオ、リプレイ TV、エシエントを傘下に持つ DNNA の持ち株会社として経営管理を行っています。

本資料中の株式会社ディーアンドエムホールディングスに関する記述のうち、歴史的事実に関するもの以外の記述には、同社に発生する将来の出来事または同社の業績に関する、将来予測に基づく記述が含まれています。これらはあくまで予測であり、実際の出来事または業績とは大きく異なることがあることをご忠告いたします。

###